

令和2年度  
大松小学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員

校長

真鍋 紀子 印

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○課題に対して一生懸命取り組む児童が多い。どの学年も当該学年の学力を平均的に身に付けている。 ●量と測定や図形について、知識理解が十分でない。文章を読みとる力が弱く、長文問題に苦手意識をもっている。	①基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができる。 ②文章を速く正確に読み取ることができる。	①板書・ノート指導を充実させる。 ②速音読を朝の学習や国語の時間に全学年実施する。 ③具体物を操作させながら定義や意味・言葉などを繰り返し指導する。 ④一人一人の習熟度に合わせたスキル学習を実施する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○体験的な学習や課題を解決する学習に意欲的に取り組める。 ●根拠や理由を明らかにして自分の意見を自信をもって発表したり、友達の考えと比較しながら発言したりすることに課題がある。また、自分の考えや思いを文章で表現することに課題がある。	①相手や目的を意識して、根拠や理由を明らかにしたり、自分の考えと友達の考えを比べたりしながら発言するなど、自分の考えを豊かに表現することができる。 ②自分の考えや思いを文章で表現することができる。	①学習活動の中で、友達と意見を交流する活動(ペア活動等)を意図的に取り入れる。 ②自分の考えを文章に書く・表現する機会を意図的に設ける。 ③「学びナビ」を改良し、活用させる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業や家庭学習に真面目に取り組む児童が多い。 ●言われたことは出来るが、自分で課題を見付けることに課題がある。自主学習を工夫したり、集めた情報を分かりやすく整理することが十分でない。	自ら課題を見付け、積極的に学習に取り組み、自信をもつことができる。	①児童の主体的な体験や活動を取り入れた授業をする。 ②「家庭学習の手引き」を渡し、適宜指導するとともに、学年便りや学級通信、学力向上便りを通じて家庭との連携を大切に、家庭学習の習慣化を図る。			

令和2年度 学力向上ロードマップ

